

光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～



次世代を担う
若者たち

～小麦の収穫作業を行う大友雅也さん～
(紹介は8ページ)

2020.9
No.
581

令和2年度

豊穣の秋へ！収穫Start!

玉葱



土佐地区
猪野間 尚人さん



共立地区
(株) 羽石農場



豊川地区
田渕 浩基さん

ところピンクにんにく



富丘地区
岩松 慎悟さん

7月中旬から8月に入り、本町の基幹作物である玉葱、小麦、にんにくの収穫が本格化してきました。今後も馬鈴薯や南瓜などの作物、小麦の適期播種に向けて忙しい毎日が続きますが、家族皆で声を掛け合い農作業事故、交通事故防止に努めて行きましょう。

秋小麦



富丘地区
尾角 光弘さん

春小麦



東浜地区
田房 浩幸さん



福山地区
今橋 正弘さん



三島 太呂さん

(受入: 安藤 貴彦さん)

オホーツクの畑作及び玉葱の产地で十勝とは異なる土壤条件での栽培方法はとても勉強になりました。玉葱の極早生品種の促成栽培方法など、今後活用したいと思います。

今回の研修で学んだことを一生大切にし、将来営農する上で、活かしていきたいと思います。



● 研修生の三島さん(左)と受入農家の安藤さん

常呂町農業担い手受入協議会(林健志会長)は、農業実習生をホームステイ形式で受け入れました。拓殖大学北海道短期大学の2年生2人が、7月27日～8月10日までの15日間で農業実習を行い、常呂町の畑作を中心とした農業を体験しました。実習生は普段の学校生活とは違い、農家での本格的実習を通して今後の就農・進学に向けて意義のある経験ができるのではないかでしょうか。

栗原 優さん

(受入: 馬渕 修さん)

今回の実習を通じ玉葱をはじめとし、小麦など作物に触れ学びを深めることができました。玉葱は我が家で栽培していないため、品種の特徴など新たに得る知識・情報が多く新鮮な日々を過ごすことが出来ました。

私が大学を卒業し就農したときに今回の経験を十二分に発揮したいと思います。



● 受入農家の馬渕さんと研修生の栗原さん(右)



△ 地元生産者が丹精込めて作った野菜のほか、パンやジャム、ソースなどの加工品、伝

加者および来場者のマスク着用の徹底、各販売ブースでは消毒液を設置し新型コロナウイルス感染防止対策を行った上での開催となりました。



● 上: 新鮮な野菜はまたたく間に無くなっていました
下: これだけ多くの出店者が集まりました

現地実習を通して農業への見識深める

—常呂町担い手受入協議会—



新鮮な野菜求め来場者多数



常呂町内で活動している「やわらぎ音」「YOKO&TOMOKO」「さくらちゃん」「育味の会」などが参加し、町内で生産された新鮮な地元野菜の販売を行う「ところ市」が8月10日、JAところ西側駐車場で行われました。

今回は会場を屋外にし、参加者および来場者のマスク着用の徹底、各販売ブースでは消毒液を設置し新型コロナウイルス感染防止対策を行った上での開催となりました。花が多数並べられ、開店とともに大勢のお客さんで長蛇の列が出来ました。来場した人は「今年は開催されるかどうか心配していたが開催されてうれしい。新鮮な野菜が手に入るのでたくさん買いたいと思います」と笑顔で話しました。

▼ラジコンヘリで防除

△△といろ（川上和則組合長）は8月4日、南瓜の防除を行いました。

ヘリコプ

タ一防除は、

株式会社コ

ハタに委託

し、申込の

あつた9戸

19圃場（面

積13・6ha）

の防除が行
われました。



●高度な技術でムラなく防除されていきます

玉葱選別工場操業開始



令和2年産共計玉葱の選果作業が玉
葱選果施設で始まりました。8月6日
から益前販売のため極早生種で一部操
業を開始、17日から本操業となりまし
た。



●たくさんの玉葱を瞬時に選果していきます



●聖徳太子碑に向け出席者全員で奉拝

★セルフ改装記念キャンペーン

常呂町農協漁協共同給油所（山田責
所長）は8月6日～7日の2日間、

「セルフ改装記念キャンペーン」を行
い、大勢の方が利用しました。

同キャンペーンは、ガソリンと軽油
が対象燃料で、通常より価格が下がる
ほか、店頭給油25㍑以上で「北海道産
ゆめぴりかパックご飯3個セット」を
プレゼントするものです。また、子供
連れのお客様には「スナック菓子」が
プレゼントされました。

両日とも、朝から営業終了時間まで

たくさんのお客さんが訪れ、賑わいを
見せました。



●お菓子をもらって嬉しそうな孫の
叶くんと訪れた中島薰さん

聖徳太子祭

聖徳太子奉贊会（川上和則会長）は
8月1日、毎年執り行っている聖徳太
子祭を豊川地区の高徳寺で行いました。

この聖徳太子祭は、常呂川の治水工
事として大正10年8月1日に新水路

堀削、築堤、護岸工事の起工式が行わ
れ、工事が安全に一日でも早く完成す
ることを願つて、治水・築堤の技術を
広められた聖徳太子の碑を建立して遺
徳を奉贊し、そのご尊慮に報い堤防の
守護と安全を祈念し毎年開催されてい
るものです。

当日は奉贊会の役員や関係者一同が、
先人たちへの感謝と今後の堤防の安全
を願い参拝を行いました。

令和3年には築堤工事が着工されて
100周年を迎えます。
記念事業を計画してお
りますので、実施にあた
つては皆様にご協力を
お願いすることとなり
ますのでよろしくお願
いします。

未来を拓く協同組合 SDGsとJA

未来を拓く協同組合 SDGsとJA

監修=JCA(日本協同組合連携機構)

住み続けられるまちづくりを

現在、世界人口の半分の約35億人が都市で暮らし、これからも増え続けると予測されています。日本も都市部に人口が集中し、一方で農村部は人口減少や高齢化が進んでいます。国連が掲げるSDGs(エスディージーズ、持続可能な開発目標)では「住み続けられるまちづくりを」を目標の一つに掲げています。

地域に住み続けるためには金融機関、食料品店舗、ガソリンスタンドなど社会的なインフラが欠かせません。JAは移動金融店舗車を巡回したり、食料品の移動購買車を運行するとともに高齢者の見守り活動をしたりしています。また、JAや生協等の協同組合間で連携し、暮らしの困りごとを支援する事例もあります。さらに、都市農業の営みにより都市部の農地が維持され、環境保全や災害発生時の防災機能の発揮等にもつながっています。自治体と包括協定を結ぶ事例も全国的に広がっており、住み続けられるまちづくりを後押ししています。

SDGsに関連する主な取り組み

地域の困りごと解決(島根)

生協や医療生協、JA、社会福祉協議会が連携し、有償の助け合いシステム「おたがいさま」を実施しています。暮らしの困りごとを住民が協力して解決する取り組みです。困りごとがある「利用者」とそれを助ける「応援者」を「コーディネーター」が結び付けて、解決に導きます。

家 事	掃除・洗濯・買い物・食事づくり・ゴミ出し
介 助	散歩・話し相手・外出や通院の付き添い
育 児	子どもの遊び相手・保育園等の送り迎え
そ の 他	草取り・電球交換・衣類のお直し・お墓の掃除

災害復興支援(岩手)

2017年に発生した岩手県釜石市の大規模林野火災に対し、2018年に岩手県協同組合連携協議会が県内の協同組合に参加を呼びかけ、JAグループや生協、漁協、森林組合が連携して森林再生の植樹を実施しました。



JCA資料等から作成

耕そう、大地と地域のみらい。

12月号 第2 別冊付録

12月号 第1 別冊付録

1月号 第1 別冊付録

1月号 第2 別冊付録

四季の気配をたのしむ
二十四節気手帖

JAグループのファミリー・マガジン
**『家の光』12月号・1月号
購読申し込み受付中**

JAグループ 家の光協会 〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11 TEL.03-3266-9039 <http://www.ienohikari.net> お申し込みはお近くのJA本・支店(所)へ

退職のお知らせ

組合員の皆様におかれましては、お健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。



組合員の皆様におかれましては、お健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

私ごとですが、このたび8月31日をもって定年退職致しました。

顧りみますと、昭和56年に入組して以来、在職中は公私共にお世話になり、至らない私が大過なく過ごさせて頂きましたことは、ひとえに組合員の皆様をはじめ、役職員の方々のご指導ご鞭撻の賜物と深く感謝致しております。

退職後も、引き続き嘱託職員として勤務させて頂くこととなりましたので、今後ともよろしくお願い致します。最後になりましたが、皆さま方の発展を祈念して退職の挨拶に替えさせて顶きます。

今日は、「コンプライアンス研修会実施

JJAといじろ（川上和則組合長）は7月27日、JA会議室で職員を対象とした「コンプライアンス研修会」を行いました。

当JAでは、不祥事を未然に防ぐとともに、法令順守や企業倫理を再確認し、内部統制の整備とコンプライアンス体制の確立ができるよう毎年研修会を実施しています。

経済部 施設コントラ課 考査役
望月 泰男

コンプライアンス研修会実施 ～倫理法令遵守を再確認～



講師のJA中央会北見支所野崎職員と高橋主幹(左より)

農作業事故防止の徹底！

【農作業安全の実践・確認項目】

- ①休憩の取れる無理のない作業
- ②農作業や機械作業に適した服装
- ③点検・整備は、必ずエンジン停止
- ④油断せず後方確認、足元注意
- ⑤慎重な圃場への出入り、慎重なあぜ越え

- ⑥農道の走行時は、路肩の状況を確認
- ⑦道路走行に備え、反射板を装着



暴風雨などの悪天候時には、圃場に行かない！
「もしも」に備え携帯電話を持参しよう！



第6回理事会報告 <7月17日開催>

- ◆固定資産取得について（計画外）
- ◆固定資産取得について（100万円以上 税別）
- ◆令和元年産玉葱共同計算について
- ◆令和2年産玉葱共同計算について
- ◆令和2年産共計玉葱の仮渡金について
- ◆令和2年産小麦共同計算について
- ◆令和2年産共計小麦の仮渡金について
- ◆令和2年度日甜美幌製糖所の受渡立会人の選任について
- ◆納税猶予の保証解除について
- ◆令和2年度実測面積について
- ◆令和2年度コムギなまぐさ黒穂病調査の結果について
- ◆第9次常呂町農業振興計画策定に係る地区対話集会の開催結果について
- ◆令和2年度 早取り肥料取りまとめ実績について
- ◆職員の採用について
- ◆組合員の加入、脱退について
- ◆令和2年度労働組合執行部体制について
- ◆農業委員会報告について
- ◆報告事項
- ◆第1四半期監査報告について
- ◆令和元年産原料てん菜共計精算にかかる内部監査報告について
- ◆JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について
- ◆協議事項
- ◆新型コロナウィルスによる今後の農協主催事業の開催可否について

行事予定表

9月1日(火)～9月30日(水)

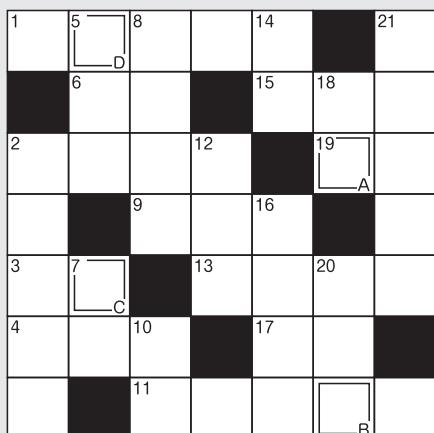
9月12日(土) 秋季祭典

9月22日(火) 秋分の日

9月18日(金) 第8回定例理事会

9月27日(日) 農休日

9月21日(月) 敬老の日



Crossword Puzzle ～クロスワード・パズル～

二重マスの文字をA～Dの順に並べ替えて出来る言葉はなんでしょうか？

ヨコのカギ

- ①唱歌「虫のこえ」ではガチャガチャと鳴いています
- ②写真を並べて入れたり、貼ったり
- ③きつねうどんのメインの具
- ④厳しさの度合いを緩めること。規制○○○
- ⑥すしに添えるショウガの酢漬け
- ⑦涼しくなると不快○○○も下がります
- ⑪ぶどう酒の一つ。ブドウの実の皮を取り除いて造ります
- ⑫秋桜とも呼ばれる花
- ⑯郵便物に料金分を貼り付けます
- ⑰イチカバチかの○○に出た
- ⑲うどんやそば、ビーフンなどのこと

タテのカギ

- ②俗に赤トンボと呼ばれるトンボ
- ⑤○○○半島は青森県北西部に位置します
- ⑦ギターやバイオリンに張ります
- ⑧袋に「おてもと」と書かれている物もあります
- ⑩ホークはタカ、イーグルは○○
- ⑫謙遜して「せがれ」と言う人もいます
- ⑭算数の文章題を解くために立てるこども
- ⑯ギンナンは殻を割り、○○○○をむいて使います
- ⑰猫は出したり引っ込めたりできます
- ⑳人体○○○を使って内臓の配置を学んだ
- ㉑流し台や食器などに使われるさびにくい合金

先月の当選者・解答

8月号のまちがい探しの答えは、「2、5、7、9、12」でした。
抽選の結果、次の方が当選しました。
おめでとうございます。

佐藤 虹心さん（豊川）

※()内は地区名です。

応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えと広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。
抽選で、ロッテのお菓子セットをプレゼントします。

読者の声

★料理のレシピを掲載してほしい。

(匿名希望)

★毎月楽しみで届いたらすぐ読んでいます！

(匿名希望)

農業を担う青年たち

No.1

*今年度の新規就農者の皆さんを今月号から4回にわたってご紹介します。

富丘地区

石澤

たける

健さん(22歳)

〈父:彰さん〉



○最終学歴

酪農学園大学

○就農にあたっての抱負

いち早く一人前になること。また、時代に合った農業を柔軟に取り込んでいきたい。地域の高齢化が進んでいるので、若い人達で盛り上げていきたい。

○学校で学んでいたこと

園芸や、人付き合いの大切さを学びました。

○趣味

音楽制作・音楽鑑賞

農業

研修生

～ただ今、研修中～

Part 2

オホーツクの魅力を堪能!!



8月23日にオホーツク海で
クルージングを体験

(株)S&Hファーマーで研修を受ける
俣野みづきさん(右)



育ひかりで研修を受ける稻垣はなさん(左)



7月24日に
さくらんぼ狩りを体験



編集後記

- 連日猛暑日が続いた8月もようやく終わりを告げ、収穫作業後半戦の9月となります。外では秋を告げるトンボやキリギリスなどの姿が確認できるようになりましたね。皆さんの秋を感じられるものはなんでしょうか。
- 今年も残すところ4か月となりました。時間は本当に早いなど実感する日々です。最後まで気を抜かず農作業事故などには気を付けましょう。

《営農企画課：広報担当》

次世代を担う 若者たち

小麦の収穫作業を行う大友雅也さん

今月の表紙は、共立地区の大友雅也さん(22)です。コンバインで秋小麦を収穫しているところを撮影させていただきました。撮影後に今後の抱負について聞くと、「就農して二年経ちましたが、技術も知識もまだまだ勉強不足なので、これからも先輩方の背中を見て勉強していきたいと思います」と、意欲溢れる意気込みを聞くことができました。収穫作業でお忙しい中、撮影にご協力いただきありがとうございました。

